

《内閣府 男女共同参画局から》

- 「北京+25」レビュー報告書作成に当たって、ご意見をお寄せください。
- 2019年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズを決定しました！
- 女子中高生向けシンポジウム「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2019」を開催します。
（6月8日開催）
- 「テレワーク・デイズ2019」の参加登録の受付を開始しました！

《お知らせ》

- NWEC女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』【文部科学省】
- 「女性関連施設相談員研修」開催【文部科学省】
- 国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019～情の時代～」（8月1日（木）～10月14日（月・祝）開催）
【お知らせ】

《内閣府 男女共同参画局から》

- 「北京+25」レビュー報告書作成に当たって、ご意見をお寄せください。
- 政府においては、現在、2020年の「北京+25」に向けて、男女共同参画に関する我が国の取組の報告書の作成を行っており、その参考とさせていただくため、過去5年間の政府の取組の評価、課題のある分

野、今後の5年間で取り組むべきことなどについて、NGOのご意見を伺いたいと存じます。上記の内容についてのご意見のある団体等におかれては、5月20日（月）までに、次のメールアドレスにご意見をお寄せください。なお、メールには個別のご意見について回答を行うものではございませんので、あらかじめご了承ください。

メールアドレス：i.post-danjo@cao.go.jp

※メールの件名を【北京+25（団体名）】としてください。

※様式は自由ですが、添付ファイルではなく、メール本文に記述願います。

（参考）http://www.gender.go.jp/international/int_kaigi/int_csw/chii59-b.html

※前回（第443号）のメルマガに記載したメールアドレスに誤りがありました。

お詫び申し上げます。

●2019年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズを決定しました！

“男女共同参「学」” ・ “知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる”

内閣府では、「「学び」を通じて、男性も女性も、ひとりひとりが、多様なライフキャリアの形成と選択ができる社会の実現に向けたキャッチフレーズ」を募集し、応募総数1,900点の中から、審査の結果、以下の4作品を選びました。〔募集期間：1月10日～2月28日〕

- ・最優秀作品 「男女共同参「学」」 浜口直樹さん（神奈川県）
- ・最優秀作品 「知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる」 梶浦公靖さん（東京都）
- ・優秀作品 「夢を、性別なんかは、壊させない」 長井謙さん（沖縄県）
- ・優秀作品 「男らしさ、女らしさはいらぬ。さあ、あなたらしく学ぼう。」 杉山大地さん（神奈川県）

最優秀作品は、男女共同参画週間のポスターの他、男女共同参画局サイトや全国各地での関連行事の広報活動等で使用します。

※男女共同参画週間の実施について

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」です。

本年度は、「男女共同参「学」」、「知る 学ぶ 考える 私の人生 私がつくる」というキャッチフレーズの下、男女共同参画社会の実現に向けた各種広報啓発活動等を実施します。

この週間の中央行事として、「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」を6月25日(火)に東京国際フォーラム ホールC（東京都千代田区）において開催するほか、地方公共団体や女性団体その他の関係団体の協力の下に、男女共同参画社会の実現に向けた各種行事及び広報啓発活動を行います。

※男女共同参画週間、キャッチフレーズの詳細は以下のサイトをご覧ください。

<http://www.gender.go.jp/public/week/index.html>

●女子中高生向けシンポジウム「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2019」を開催します。

（6月8日開催）

「理系で広がる私の未来」は、理系選択のその先にどんな未来があるのか、女子中高生とその保護者・教員の皆さんに「理系選択の未来」を知っていただくシンポジウムです。

研究者や大手企業で活躍されている方々にご登壇いただき、多様で豊かな理工系女子の実態をご紹介いただきます。理工系で活躍する先輩との交流や、研究所や企業での仕事等を紹介するブース展示、ワークショップ等も予定しており、みなさんが理工系の仕事に抱いているイメージとは異なる発見があったり、ご自身の進路を考える上での参考にしていただけます。

理系に興味のある方はもちろん、数学や理科が苦手な方で、理系に縁のなかった保護者や進路指導を行う教員の方にもお楽しみいただけるシンポジウムですので、ぜひご参加ください。

日時：2019年6月8日（土） 14:15～17:30 ※開場13:00

場所：科学技術振興機構 東京本部別館（東京都千代田区五番町7K' s五番町）

※参加費無料

※シンポジウム詳細及び参加お申込みはこちらをご覧ください。

<https://www.jst.go.jp/diversity/activity/seminar/rikejyoinsei2019.html>

●「テレワーク・デイズ2019」の参加登録の受付を開始しました！

場所にとらわれず、通勤時間から解放される柔軟な働き方を実現するテレワークー

総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、内閣府では、東京都及び関係団体と連携

し、2017年より、2020年東京オリンピックの開会式にあたる7月24日を「テレワーク・デイ」と位置づけ、働き方改革の国民運動を展開しています。2019年は、2020年東京大会前の本番テストとして、7月22日（月）から9月6日（金）の約1ヶ月間をテレワーク・デイズ2019実施期間と設定し、テレワークの一斉実施を呼びかけます。

現在、

- ・実施団体：参加人数等を問わずテレワークを実施又はトライアルを行う団体
- ・特別協力団体：テレワークの実施に際し、（1）5日間以上実施、（2）7月24日（水）に100名以上実施、（3）効果測定（実施人数、コスト削減の効果等）に協力可能な団体
- ・応援団体：テレワークに係る実施ノウハウ、ワークスペース、ソフトウェア等を提供する団体、およびワーケーションを支援する団体

の参加登録を以下ホームページで受け付けています。

積極的にご参加ください！

<https://teleworkdays.jp/>

《お知らせ》

●「NWEC女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』」【文部科学省】

NWECでは、女性アーカイブセンター所蔵展示『ベアテ・シロタ・ゴードン展』を開催します。

ベアテ・シロタ・ゴードンさん（1923～2012）は、ウィーンで生まれ1929年に著名なピアニストである父レオ・シロタ氏の東京芸術大学教授赴任に伴い家族で来日しました。日本のアメリカンスクールを卒業後、アメリカ西部の伝統ある女子大ミルズ・カレッジに学びます。1945年から1946年の2年間、再び日本に滞在し、GHQ民政局員として日本国憲法草案作成に携わり、草案第14条「法の下（もと）の平等」、第24条「両性の平等の原則」の条文作成に寄与しました。1990年頃からは、日本各地で自身が関わった日本国憲法についての講演活動を活発に行いました。

ベアテさんの幼少期から晩年までの各時代の写真、日本国憲法草案作成に関わる資料、日本での講演のチラシ・パンフレットなどを展示します。みなさまのご来場をお待ちしています。

・ 期間 2019年4月26日（金）～2019年9月30日（月）

9時～19時（休館日をのぞく）

・ 会場 国立女性教育会館女性アーカイブセンター展示室（本館1階）

・ 料金 無料

●「女性関連施設相談員研修」開催【文部科学省】

NWECでは、女性に対する暴力などの喫緊の課題解決を目指し、複雑・多様化

する悩みに男女共同参画の視点から適切に対応できる相談員の育成と業務の質の向上を図るための専門的・実践的研修を実施します。

・ 日時 2019年6月19日(水)～6月21日（金）【2泊3日】

・ 会場 国立女性教育会館(埼玉県比企郡嵐山町菅谷728)

・ 対象 女性関連施設、相談機関等の相談員等90名

・ 申込開始 第1次（初めて参加される方）2019年5月13日(月)～

第2次（過去に参加経験がある方）2019年5月20日(月)～

- ・締切 2019年5月30日(木) ※先着順
- ・参加費 無料(宿泊費1泊1,200円、食事代、情報交換会費(希望者のみ)は別途)

詳細は、こちらをご覧ください。

https://www.nwec.jp/event/training/g_soudan2019.html

□問合せ先

国立女性教育会館事業課 島田、石倉

TEL : 0493-62-6724

●「あいちトリエンナーレ2019～情の時代～」の開催（8月1日（木）～10月14日（月・祝））【お知らせ】

【あいちトリエンナーレ2019～情の時代～】

日程：2019年8月1日（木）～10月14日（月・祝） [75日間]

会場：愛知県及び豊田市の美術館、市内各地

テーマ：「情の時代」感情／情報／情（なさけ）など

※「ジェンダー」をテーマとした作品も紹介されます。

今年2019年8月1日（木）から10月14日（月・祝）の75日間の日程で、愛知県名古屋市と豊田市で開催される国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」で、参加作家の完全なジェンダー平等が実現する運びとなりました。

美術業界は女性の割合が多い業界で、現在の主要な美大の男女比は、7割が女性で男性は3割です。美術館の学芸員も女性が多く、66%——3人に2人は女性です。しかし、行政が主導する国際芸術祭の参加作家となると、海外であっても、日本であっても参加作家の割合は、男性7割、女性3割と逆転します。美術館の館長は9割近くが男性です。

美大の教員も8割以上男性によって占められています。女性の中に良い作家がたくさんいるのに、「選ぶ側」が男性中心であるためこの構造が変わらない——あいちトリエンナーレではこの構造を変えるア

フォーマティブ・アクションとして、今回の参加作家のジェンダー平等を実現しました。

会場では、参加女性作家による、ジェンダーの問題を想起させるようなアートも展示される予定です。

会期が始まりましたらぜひ皆様愛知県まで足をお運びください。

※詳細は以下をご覧ください。

<https://aichitriennale.jp/>

=====
●内閣府 男女共同参画局のホームページは、男女共同参画に関する総合的な情報提供サイトです。

男女共同参画社会を実現するための法律、基本計画、関係予算等のほか、男女共同参画に関する政策・活動等の情報を掲載しています。

<http://www.gender.go.jp>

●男女共同参画局メールマガジンについて

男女共同参画局メールマガジンは、隔週金曜日に配信しています。

次号は、令和元年5月24日（金）に配信する予定です。

=====
●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。このまま御返信いただいてもお答え
できませんので御了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/index.html>

バックナンバーはこちらから

<http://www.gender.go.jp/magazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0001.html>